

Health

0

5

10

15

What's your condition color?

20

25

30

35

40

45

ME-BYO®

50

55

60

65

70

75

80

85

90

95

Disease

100

「ヘルスケア・ニューフロンティア構想」

「最先端の医療や最新技術の追求」「未病を治す」というアプローチを融合することにより、健康寿命を延ばすとともに、新たな産業を創出し、誰もが元気で長生きできる社会を目指す神奈川発のプロジェクト。

第4回 神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア講座

# 未病産業

音声から病態を分析する  
新しい医学

講演者 **光吉 俊二** 東京大学大学院医学系研究科  
音声病態分析学講座特任講師

司会 **戸崎 肇** 早稲田大学商学学術院教授 博士(経済学)  
公共経済学・産業イノベーション論

2016.1.13.WED 18:00-19:30

早稲田大学 国際会議場 3階第2会議室 **入場無料** ご自由にご来場ください  
【受講対象者 学生・大学院生・一般】



神奈川県



WASEDA University

# 超高齢社会を乗り越える、 神奈川の新たなプロジェクト

超高齢社会を乗り越える、神奈川の新たなプロジェクト「ヘルスケア・ニューフロンティア」とは、超高齢社会の到来という急激な社会変化を乗り越え、誰もが健康で長生きできる社会を目指す、神奈川県の新プロジェクトです。

日本は世界で最も高齢化が進んでおり、特にこの神奈川は全国でも一・二を争うスピードです。そして、速度の違いこそあれ、先進国はすべてこの超高齢社会に向かっています。このようかつて経験したことのない社会構造変化の波が押し寄せる中で、現在の社会システムを今後も維持していけるかが試されています。こうした変化を乗り越えるためには、中長期的な改革が必要です。

神奈川県では、二つのアプローチでこの課題を解決したいと考えています。一つは、未病を治すというアプローチです。心身の状態は、健康か病気かという二つに分かれるものではありません。健康と病気の間にはグラデーション（緩やかな変化）の部分があります。これが未病という状態で、東洋医学には昔からある考え方で。いつまでも健康であるためには医食農同源の発想で、日ごろの生活習慣から、未病を治していく必要があるのです。

もう一つは、最先端医療や最新技術の追求というアプローチです。iPS細胞に代表されるように、日本には世界をリードする基礎研究が多くあります。これを革新的な医療として実用化し、産業として育てます。

その中心となるのが「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」や「さがみロボット産業特区」です。また、国家戦略特区を活用し、この二つのアプローチを融合することにより、個別化医療を実現し、健康寿命を延ばし、誰もが健康で長生きできる社会を目指します。また、最先端の医療の分野を切り拓き、未病産業や最先端医療関連産業など新しいビジネスモデルを生み出して世界に発信します。こうした新たなプロジェクトが「ヘルスケア・ニューフロンティア」の取組みなのです。

さらに詳しい情報は、神奈川県ホームページをご覧ください。 <http://www.pref.kanagawa.jp/div/0121/>

## 登壇者プロフィール



講演者

**光吉 俊二** みつよし しゅんじ

東京大学大学院医学系研究科  
音声病態分析学講座特任講師

日本の計算機科学者であり彫刻家。多摩美術大学美術学部彫刻科卒業。徳島大学大学院工学研究科博士後期課程修了、博士。2006年、「音声感情認識及び情動の脳生理信号分析システムに関する研究にて学位を得る。2009年、東京大学大学院工学系研究科、非常勤講師に就任。2014年、東京大学大学院医学系研究科社会連携講座として音声病態分析学を設立、同年12月東京大学大学院医学系研究科特任講師に就任。（Wikipediaより引用）



司会

**戸崎 肇** とざき はじめ

早稲田大学商学学術院教授 博士(経済学)  
公共経済学・産業イノベーション論

京都大学経済学部卒業。1986年日本航空株式会社入社。1990年に日本経済研究センターへ出向すると共に、社会人大学院生として就業しつつ京都大学大学院経済学系研究科博士前期課程に入学。1995年に京都大学より博士(経済学)。1995年帝京大学専任講師、同大学助教授に就任。1999年明治大学商学部助教授、2003年同大学教授に就任。2008年早稲田大学アジア研究機構アジア研究所教授に就任。

## アクセス



早稲田大学 国際会議場 3階第2会議室  
東京都新宿区西早稲田1-20-14 (Tel 03-5286-1755)  
高田馬場駅より早大正門行きバス 西早稲田下車 徒歩3分  
地下鉄東西線早稲田駅3b出口より 徒歩10分 都電早稲田駅より 徒歩2分

【音声病態分析学講座とは】 マツダ株式会社とMK I (三井情報株式会社) の出資により平成24年9月に東京大学大学院医学系研究科に設置された社会連携講座です。音声による心や身体の状態を分析する技術の開発とその応用に取り組みます。音声には神経により影響を受ける成分が含まれています。音声病態分析学とはこれまで、あまり省みられなかった音声という生体情報を用いて病態を知ろうという学問です。音声感情認識技術とは、音声に含まれる「怒」「喜」「悲」「平常」(4感情)の割合と「興奮」の程度を簡単に眼で確認できる技術です。当講座では、音声感情認識技術をさらに発展させ、心や身体の状態を認識する技術の開発と応用に取り組んでいます。

お問い合わせ：運営事務局 株式会社 NCPクリエイティブ  
TEL:03-6264-3236(営業時間：土日祝日を除く 11:00-17:00) <http://www.waseda.jp/top/>

主催：神奈川県 共催：早稲田大学総合研究機構システム競争力研究所